

## 滋賀県の産業振興についてのアンケート結果

県では、「滋賀県産業振興ビジョン」（平成27年3月策定）に基づき、産業振興施策を進めているところです。

このたび今後の産業振興施策に活かしていくため、県政モニターによるアンケート調査を実施しました。

★調査時期：平成30年11月

★対象者：県政モニター395人

★回答数：321人（回収率81.3%）

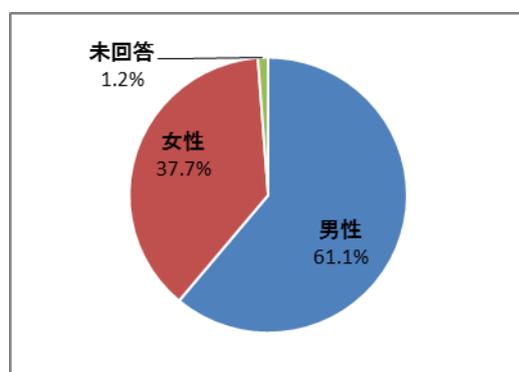
★担当課：商工観光労働部 商工政策課

※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。

### 【属性】

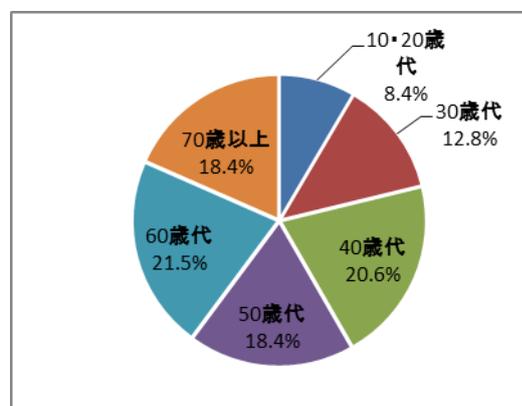
#### ◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	196	61.1%
女性	121	37.7%
未回答	4	1.2%
合計	321	100.0%



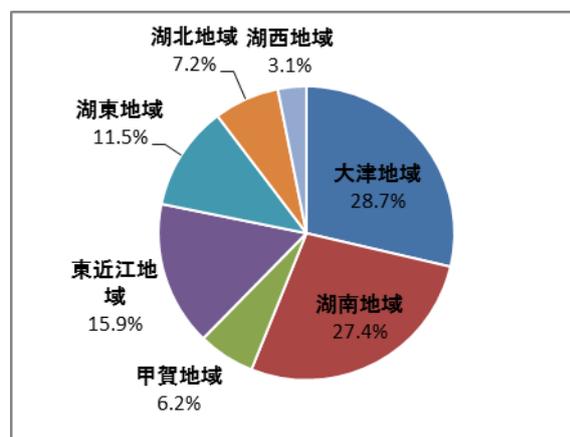
#### ◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	27	8.4%
30歳代	41	12.8%
40歳代	66	20.6%
50歳代	59	18.4%
60歳代	69	21.5%
70歳以上	59	18.4%
合計	321	100.0%



#### ◆地域

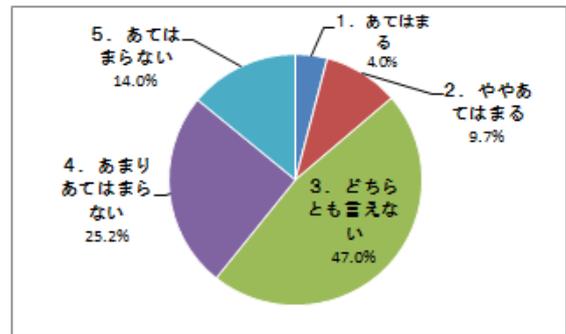
項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	92	28.7%
湖南地域	88	27.4%
甲賀地域	20	6.2%
東近江地域	51	15.9%
湖東地域	37	11.5%
湖北地域	23	7.2%
湖西地域	10	3.1%
合計	321	100.0%



【問1】 あなたご自身の暮らし向きについてお尋ねします。  
次の（1）～（3）の項目について、あてはまるものをお選びください。

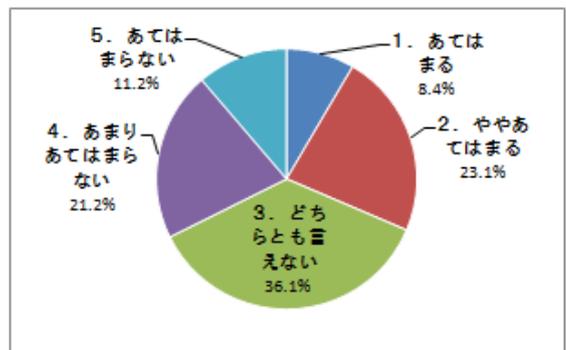
【問1】（1） 1年前と比べて、自分の世帯の暮らし向きは良くなってきた。（回答チェックは1つだけ。 n=321）

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	13	4.0%
2. ややあてはまる	31	9.7%
3. どちらとも言えない	151	47.0%
4. あまりあてはまらない	81	25.2%
5. あてはまらない	45	14.0%
合計	321	100.0%



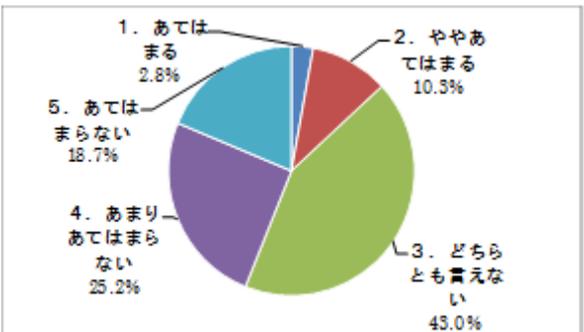
【問1】（2） 現在の自分の世帯の暮らし向きは良い。（回答チェックは1つだけ。 n=321）

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	27	8.4%
2. ややあてはまる	74	23.1%
3. どちらとも言えない	116	36.1%
4. あまりあてはまらない	68	21.2%
5. あてはまらない	36	11.2%
合計	321	100.0%



【問1】（3） 1年後の自分の世帯の暮らし向きは、現在に比べて良くなりそう。（回答チェックは1つだけ。 n=321）

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	9	2.8%
2. ややあてはまる	33	10.3%
3. どちらとも言えない	138	43.0%
4. あまりあてはまらない	81	25.2%
5. あてはまらない	60	18.7%
合計	321	100.0%



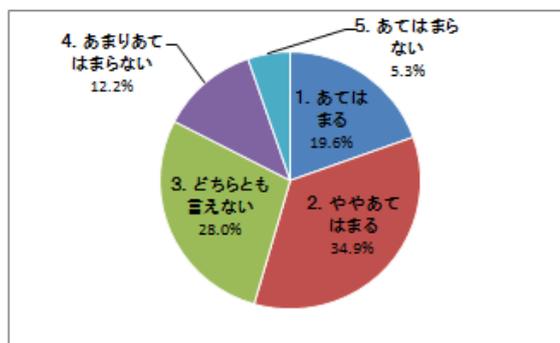
【問2】 就労されている方にお尋ねします。

次の(1)～(5)の項目について、あてはまるものをお選びください。

【問2】(1) 自分の仕事にやりがいや充実感を感じている。(回答チェックは1つだけ。

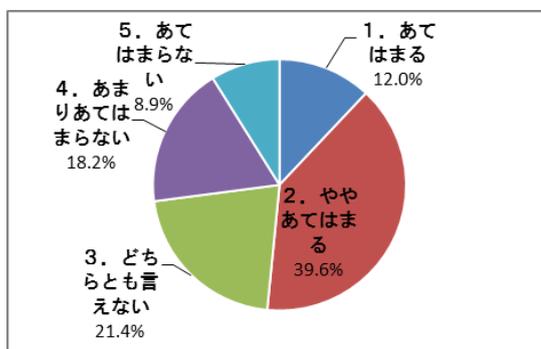
n=189)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	37	19.6%
2. ややあてはまる	66	34.9%
3. どちらとも言えない	53	28.0%
4. あまりあてはまらない	23	12.2%
5. あてはまらない	10	5.3%
合計	189	100.0%



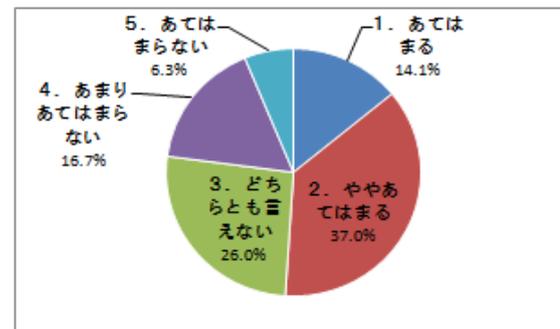
【問2】(2) 仕事と生活のバランスが取れている。(回答チェックは1つだけ。 n=192)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	23	12.0%
2. ややあてはまる	76	39.6%
3. どちらとも言えない	41	21.4%
4. あまりあてはまらない	35	18.2%
5. あてはまらない	17	8.9%
合計	192	100.0%



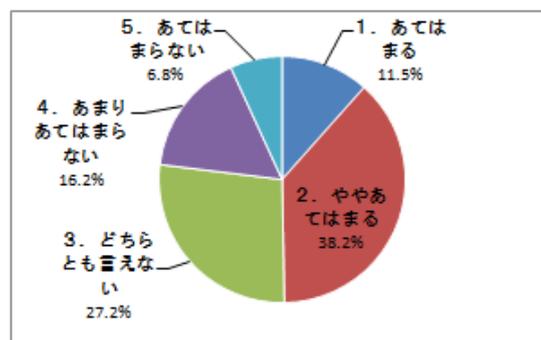
【問2】(3) 仕事をはじめ社会的な生活を営む上で、自分の技術や能力などが発揮できている。(回答チェックは1つだけ。 n=192)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	27	14.1%
2. ややあてはまる	71	37.0%
3. どちらとも言えない	50	26.0%
4. あまりあてはまらない	32	16.7%
5. あてはまらない	12	6.3%
合計	192	100.0%



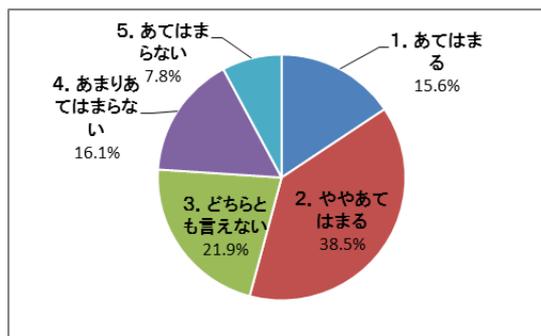
【問2】(4) 仕事をはじめ社会的な生活を通じて、自分の技術や能力などが高まっている。(回答チェックは1つだけ。 n=191)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	22	11.5%
2. ややあてはまる	73	38.2%
3. どちらとも言えない	52	27.2%
4. あまりあてはまらない	31	16.2%
5. あてはまらない	13	6.8%
合計	191	100.0%



【問2】(5) 仕事や就業に役立てるための学びや自己啓発を行っている。(回答チェックは1つだけ。 n=192)

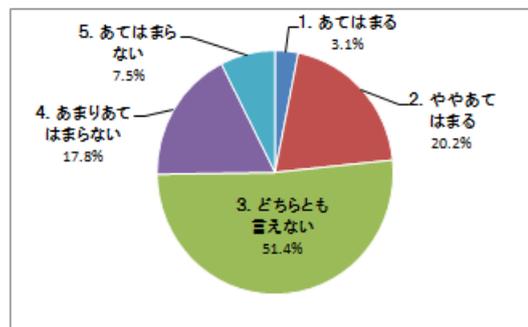
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	30	15.6%
2. ややあてはまる	74	38.5%
3. どちらとも言えない	42	21.9%
4. あまりあてはまらない	31	16.1%
5. あてはまらない	15	7.8%
合計	192	100.0%



【問3】 お住まいの市・町での労働環境について、お尋ねします。  
次の(1)～(2)の項目について、あてはまるものをお選びください。

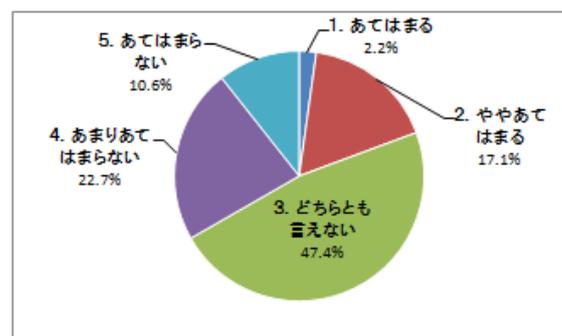
【問3】(1) お住まいの市・町では、働く意欲がある人たちの雇用が確保されている。(回答チェックは1つだけ。 n=321)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	10	3.1%
2. ややあてはまる	65	20.2%
3. どちらとも言えない	165	51.4%
4. あまりあてはまらない	57	17.8%
5. あてはまらない	24	7.5%
合計	321	100.0%



【問3】(2) お住まいの市・町では、年齢や性別にかかわらず、働きやすい環境が整っている。(回答チェックは1つだけ。 n=321)

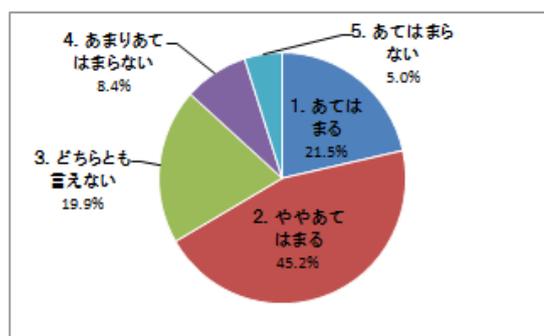
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	7	2.2%
2. ややあてはまる	55	17.1%
3. どちらとも言えない	152	47.4%
4. あまりあてはまらない	73	22.7%
5. あてはまらない	34	10.6%
合計	321	100.0%



【問4】 県内やお住まいの市・町の自然、歴史・文化、観光について、お尋ねします。  
次の（1）～（7）の項目について、あてはまるものをお選びください。

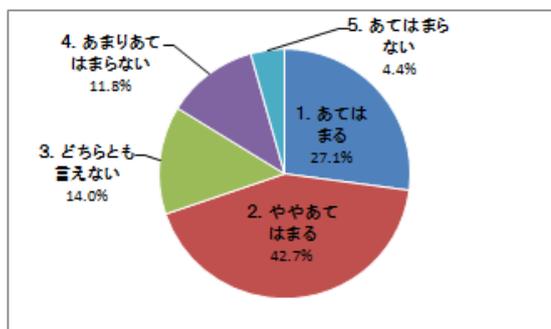
【問4】（1）お住まいの市・町に誇りや愛着を感じる。（回答チェックは1つだけ。  
n=321）

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	69	21.5%
2. ややあてはまる	145	45.2%
3. どちらとも言えない	64	19.9%
4. あまりあてはまらない	27	8.4%
5. あてはまらない	16	5.0%
合計	321	100.0%



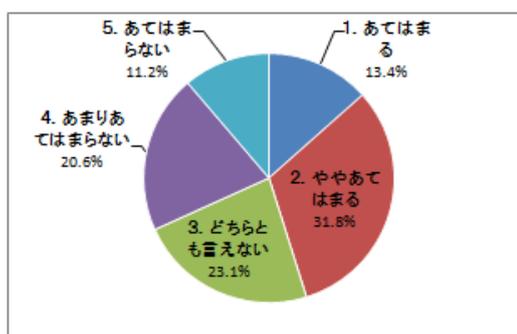
【問4】（2）県内の自然・歴史・文化的なスポットを訪れている。（回答チェックは1つだけ。 n=321）

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	87	27.1%
2. ややあてはまる	137	42.7%
3. どちらとも言えない	45	14.0%
4. あまりあてはまらない	38	11.8%
5. あてはまらない	14	4.4%
合計	321	100.0%



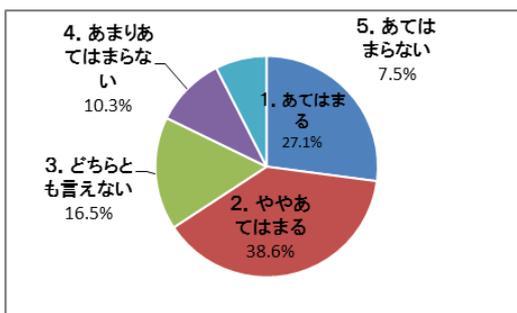
【問4】（3）県内の自然・歴史・文化的なスポットについて、県外の人にその良さを広めている。（回答チェックは1つだけ。 n=321）

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	43	13.4%
2. ややあてはまる	102	31.8%
3. どちらとも言えない	74	23.1%
4. あまりあてはまらない	66	20.6%
5. あてはまらない	36	11.2%
合計	321	100.0%



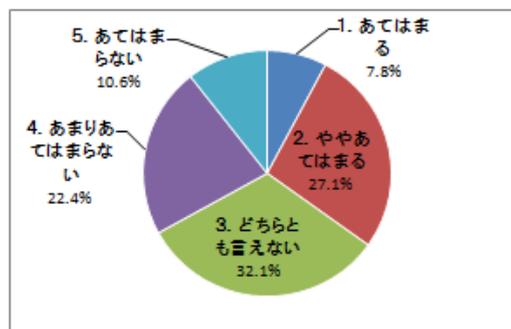
【問4】（4）お住まいの市・町には、自慢したい地域の「宝」（自然資源、歴史・文化資源、伝統産業など）がある。（回答チェックは1つだけ。 n=321）

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	87	27.1%
2. ややあてはまる	124	38.6%
3. どちらとも言えない	53	16.5%
4. あまりあてはまらない	33	10.3%
5. あてはまらない	24	7.5%
合計	321	100.0%



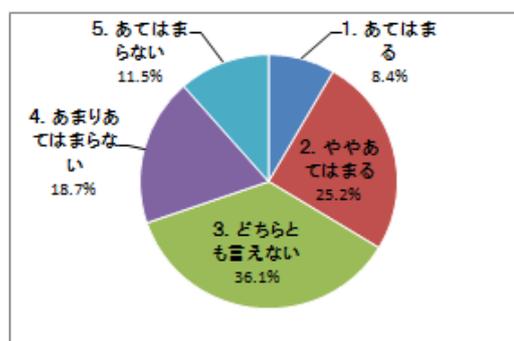
【問4】(5) お住まいの市・町では、これらの「宝」やスポットが産業振興に活かされている。(回答チェックは1つだけ。 n=321)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	25	7.8%
2. ややあてはまる	87	27.1%
3. どちらとも言えない	103	32.1%
4. あまりあてはまらない	72	22.4%
5. あてはまらない	34	10.6%
合計	321	100.0%



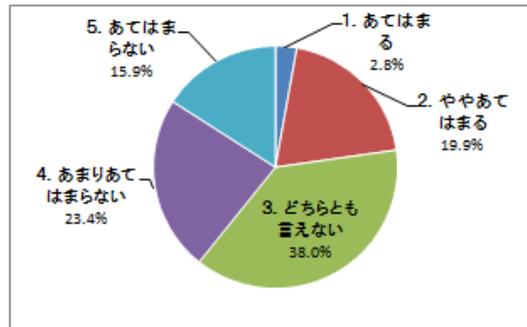
【問4】(6) お住まいの市・町では、観光などの訪問客が増えている。(回答チェックは1つだけ。 n=321)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	27	8.4%
2. ややあてはまる	81	25.2%
3. どちらとも言えない	116	36.1%
4. あまりあてはまらない	60	18.7%
5. あてはまらない	37	11.5%
合計	321	100.0%



【問4】(7) お住まいの市・町では、訪問客を受入れる体制が整っている。(回答チェックは1つだけ。 n=321)

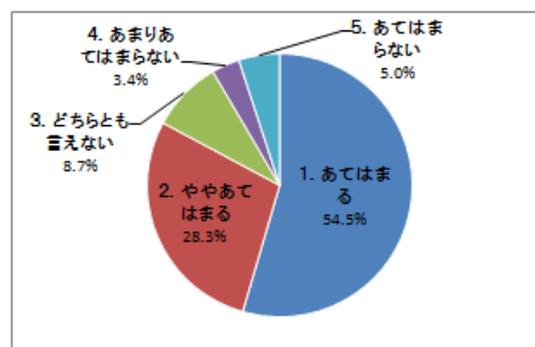
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	9	2.8%
2. ややあてはまる	64	19.9%
3. どちらとも言えない	122	38.0%
4. あまりあてはまらない	75	23.4%
5. あてはまらない	51	15.9%
合計	321	100.0%



【問5】 お住まいの市・町の生活環境について、お尋ねします。  
次の(1)～(6)の項目について、あてはまるものをお選びください。

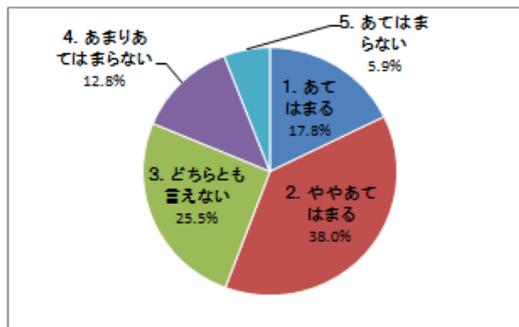
【問5】(1) 食品や日用品の購入は、地元の商店街やスーパーを利用している。(回答チェックは1つだけ。 n=321)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	175	54.5%
2. ややあてはまる	91	28.3%
3. どちらとも言えない	28	8.7%
4. あまりあてはまらない	11	3.4%
5. あてはまらない	16	5.0%
合計	321	100.0%



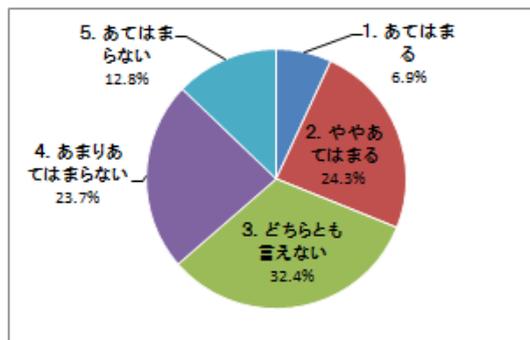
【問5】(2) お住まいの市・町や県内でとれたものを意識して買っている。(回答チェックは1つだけ。 n=321)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	57	17.8%
2. ややあてはまる	122	38.0%
3. どちらとも言えない	82	25.5%
4. あまりあてはまらない	41	12.8%
5. あてはまらない	19	5.9%
合計	321	100.0%



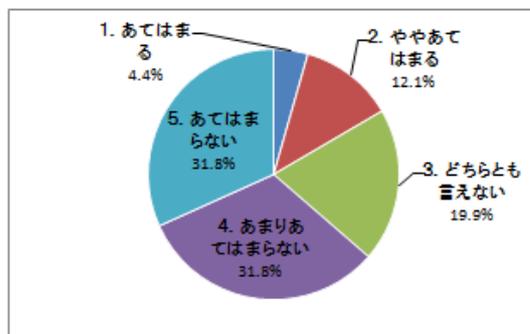
【問5】(3) 遊びやレクリエーションは、主にお住まいの市・町内で行っている。(回答チェックは1つだけ。 n=321)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	22	6.9%
2. ややあてはまる	78	24.3%
3. どちらとも言えない	104	32.4%
4. あまりあてはまらない	76	23.7%
5. あてはまらない	41	12.8%
合計	321	100.0%



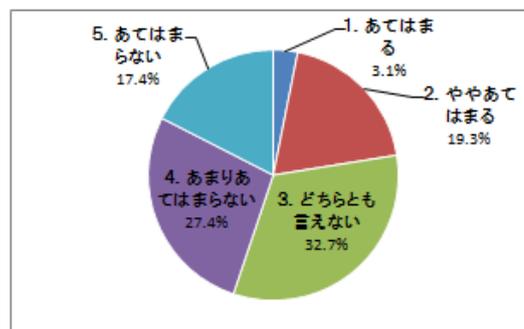
【問5】(4) お住まいの市・町の駅前や商店街には活気がある。(回答チェックは1つだけ。 n=321)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	14	4.4%
2. ややあてはまる	39	12.1%
3. どちらとも言えない	64	19.9%
4. あまりあてはまらない	102	31.8%
5. あてはまらない	102	31.8%
合計	321	100.0%



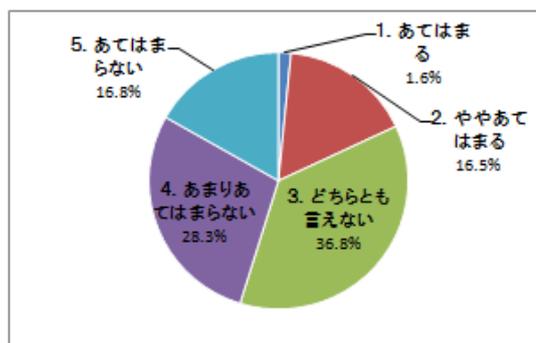
【問5】(5) お住まいの市・町には、学びや自己啓発を行うことができる場所が充実している。(回答チェックは1つだけ。 n=321)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	10	3.1%
2. ややあてはまる	62	19.3%
3. どちらとも言えない	105	32.7%
4. あまりあてはまらない	88	27.4%
5. あてはまらない	56	17.4%
合計	321	100.0%



【問5】(6) お住まいの市・町には、地元の産品を取り扱ったり、介護や子育てなど地域の課題を解決してくれる企業が充実している。(回答チェックは1つだけ。 n=321)

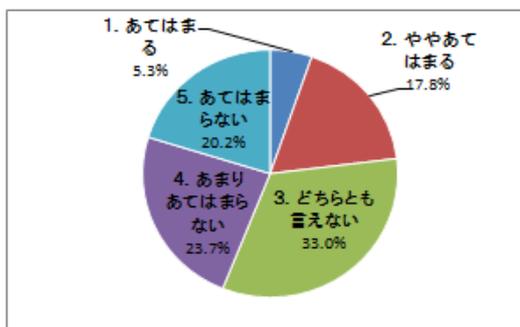
項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	5	1.6%
2. ややあてはまる	53	16.5%
3. どちらとも言えない	118	36.8%
4. あまりあてはまらない	91	28.3%
5. あてはまらない	54	16.8%
合計	321	100.0%



【問6】 お住まいの市・町の、”新しいものを生み出す力”について、お尋ねします。次の(1)～(2)の項目について、あてはまるものをお選びください。

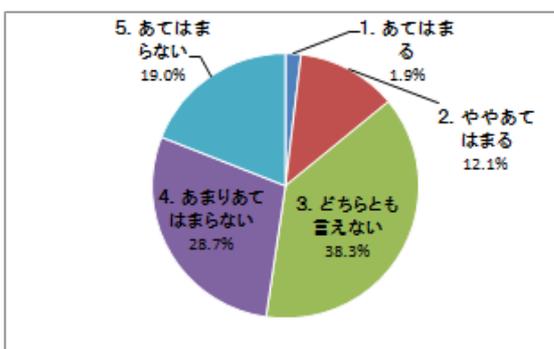
【問6】(1) あなたご自身やお勤め先には、新しい事業や新しい商品・サービスのアイデアがある。(回答チェックは1つだけ。 n=321)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	17	5.3%
2. ややあてはまる	57	17.8%
3. どちらとも言えない	106	33.0%
4. あまりあてはまらない	76	23.7%
5. あてはまらない	65	20.2%
合計	321	100.0%



【問6】(2) お住まいの市・町では、新しい事業を始めたり、新しい商品・サービスを生みやすい環境が整っている。(回答チェックは1つだけ。 n=321)

項目	人数(人)	割合(%)
1. あてはまる	6	1.9%
2. ややあてはまる	39	12.1%
3. どちらとも言えない	123	38.3%
4. あまりあてはまらない	92	28.7%
5. あてはまらない	61	19.0%
合計	321	100.0%



【問7】産業振興施策について、ご意見がありましたらお聞かせください。（抜粋）

・少子高齢化がいつそう進行するなか、地方が消滅せずに生き残る手段として産業振興は重要であると考えます。行政がいくら施策を行ったとしても、民間の力が弱ければ地域振興は達成できません。地域の特色や強みといったものを最大に生かし、住民の多くが活力を持って働く環境を整えることが行政に求められているのではないのでしょうか。そのために行政は、民間と同じ目線に立ち、一緒になって汗をかくような取り組みをすることが必要であると考えます。

・ビジョンの【概要版】は大変解り易く纏められ滋賀の将来に更なる期待と希望をもたらしてくれる。県民の一人でも多くの方がこの概要版に目を通して頂きたい。なお、ビジョンの策定後もグローバルからローカルまで様々な分野で色々な変化や出来事が生じようが絶えず影響度を見ながらビジョンの部分修正や補正を行う必要があるだろう。早速だが11月24日に「2025年大阪万博」が決定したが滋賀にも多大な経済効果をもたらす好機であり、産業振興を目指す当県にとって大きなインパクトである。一方、個々のビジネス隆盛のコアにあるのは生身の人間であり、心を持った売り手と買い手の出会い・人間関係が原点である。この点、ビジョンにある「三方よし」、「おもてなし」は我が滋賀の誇るDNAであり徹底したいものである。これはICT、AI更にRPAなどの進展で売り手と買い手の出会いが少なくなるだけに特に重要な視点になろう。

・行政が思う『振興』と住民が思うものは違う。行政や企業がこうしようと思うことでも住民からすれば突っ走ったものであったり、地域の生活に合っていなかったりとするものが多いので常に住民を意識することが地域を考えることになると思う。

・滋賀県の財産である琵琶湖の環境を改善維持すると共に周囲の森林の保全維持にも力を入れてほしい。手っ取り早い他所から企業を呼ぶなど安易な政策は長続きしないと思う。地元の琵琶湖、森林、農業を基本にした産業を若い人々に発展維持してもらう魅力ある政策を大々的に打ち立ててほしい。関西の中では最も自然や豊かさを滋賀県は誇っていると認識が大切だと思う。

・滋賀県は中小企業の自主廃業率が全国的に高いという悔しいデータがあります。一つの要因として後継者不足がいられています。つまり、労働力不足が根底にあるように解釈しています。対策として国をはじめ外国人労働者を招き入れたいとしています。私は我が滋賀県が外国人労働者を招き入れるということには反対です。それは自分たちの産業振興を自らの手で解決しようとしなくて単に安価な労働力として外国人労働者を利用しているだけではないのでしょうか？そんな後先考えないその場しのぎでは、お互いに悲惨なことになると思います。まずは、地場産業の足元を見直し、問題解決に自らの手で取り組むべきです。AIを活用することもひとつの手段です。異業種交流もあります。どちらにしても、地域振興には、もう一度、足元を見直すことが必要不可欠だと考えています。

・生産性の問題を議論されている現代社会であります、高齢者の社会進出をもっと考えるべきではあります。問題はありますが高齢者に寄り添った思考を重ねる必要があります。また企業に関して言えば、50歳未満はすべて社員化するように行政が指導すべきです（軽減課税に適用）。派遣こそは高齢者主体に考える手法をとるべきだと思います。昔の派遣は少しの期間不補充組織員の対応策でした。今は企業努力をせずに長期の派遣利用により企業収益確保にいそしんでいるように思います。労働力の中心は正社員登用で企業の安定化を図るべきです。外国からの労働力は現状では10年先を見込んで採用しているところはありません。ならば企業の将来を考えている企業のみ外国労働者を長期派遣契約で個人ごとに契約し確保されることが望まれます。そこに行政が指導力を発揮し、高齢者も外国人労働者も希望をもって滋賀県内企業に勤務できるのではないのでしょうか？

・商店街に行くと以前にあった店が、飲食店になり、飲食店ばかり。これはこれで産業だといえはいえるが、なんか根のない浮草のようで寂しい思いがする。その地域、地域の伝統産業、特徴のある産物を育てるバックアップを強力にしないといけない。非常に難しいが差別化が必要だ。

・企業・工業会等から地域貢献ですばらしい良い事が提案され実施されました、などの新しいニュースを最近あまり聞きません。地域の市民や町民からの要望が少なくなったかもしれませんね。少子高齢化が進み、人口減少等、将来のことを思いますと、今後益々企業は地域密着型、地域協力型の経営企画を考える必要性が生じると思います。新しい滋賀の産業振興を考え、実行しないと成長どころか後退することになります。日本で優秀な企業が何社も企業活動をしている滋賀県です。この企業が新しい住みよい滋賀創りに県民と一体となって貢献して頂きますことを願います。

・国内ではこんなにも企業活動に立地条件の揃った県はない。地域活性化を推進するためにはもっと県と各自治体が積極的に企業誘致に力を入れ活性化する必要がある。県内の豊富な資源「琵琶湖と自然・文化・歴史」で観光産業にもっと積極的に取り組む様、行政として進めることが必要。マンネリ化していないか。リピート客へのアプローチを進めるべき。

・ビジョンが形骸化しているように感じられる。つまり、現実には混沌としていて簡単でないテーマが山積しているが、綺麗にまとめ過ぎているように思う。ほとんどのケースにおいて、課題は混沌としており、課題をばらしていかなば施策が打てないものである。例えば、第4-2項の産業振興施策の基本は、まだ課題が混沌としている状態である。「育成」「確保」が一番の課題だが、ばらせていないので実現は困難である。人材育成に関して言えば、課題がばらせないのは、きちっと人材育成をしたことがないからである。にもかかわらず、ビジョンに「人の能力を育む組織運営、個々人が生き生きと活動できる場」をつくることが描かれていない。経営基盤を強化することもビジョンに加えるべきだということである。基盤ができていないと、何をやっても成果が出ない。財政が苦しい原因もここにある。

・産業振興の取組みは官民の連携が大切。また、滋賀県の近隣には最先端の技術研究を行う大学も多いので、ぜひ官民学の三位一体となった仕組みの中で新しいブレークスルーが生まれれば良いと思う。

・近所の店の物価は高いと感じることもあって、日用品の一部と食料品は近所のスーパー等で買い求めるが、まとまったものや高価なものは京都まで出たり、ネットで購入することが多い。そのように思っている人が多いのか、市内の百貨店や大型店、商店街の賑わいは、特別イベントの日以外はない。野菜類は道の駅、JAで地元産のものがよく売れているが、スーパーのおいしがコーナーでの客の寄り付きはそうでもないように思うのは、場所柄・感覚的なものかもしれない。現在は、特に高齢者は年金でつつましく暮らしている人が多く、多少の不便があっても本当に必要なものしか買わないので、従来の賑わいが戻ってくるとは考えにくい。そんな世相の中、産業の振興策はむずかしく、やや消極的ではあるが、背伸びせず着実に歩むのが得策ではないか。

・米、大豆、麦、肉。それが滋賀の産業の軸だと思う。そこに波及した酒、豆腐、小麦を使った麺や菓子類や、肉加工品。それらを生かした加工品を特産にしたら良いのに、「鮎寿司」など県民でも年にほとんど口にしないものが名物になっている。これでは、観光客は滋賀イコール何も無いから、京都への単なる通過点になる。隣接する県は他府県に類を見ない多さであり、交通の要になっているのは間違いないのに、それが産業の活性化につながっていない。非常にもったいない。縦に長い滋賀県。同じ県民でも、他の地域のものは食べたことがないということも多いと思う。まずは、県内でのPRから始めたらどうだろう。県民誰もが、滋賀県として、誇れるようにこの地域にはこれがある！という、滋賀地図を作って、県内でお互いのモノを買える場所を作り、県内共有の認識に力を入れたら良いと思う。

・いかんせん、消費者の人数に限りがあるので、商店街や飲食店の発展に限りがある。ITの特区などでIT産業を誘致し開発者などを呼び寄せる施策を行い、若者を呼び寄せて町の活性化を図るべきである。

・食育、地産地消などのセミナーに何度か参加したことがあります。残念ながら一部の人々での活動で、市、町、県としての継続的な取り組みを充実させることが望まれます。「ここ滋賀」の滋賀県版があってもいいのではないのでしょうか。「ここ滋賀」のネットショップをみると初めて見聞きすることや商品が多いです。皆さん同じような状況ではないのでしょうか。大きな経費を使わずに「ここ滋賀」の滋賀県版が欲しいです。

・とにかく滋賀県は人口減少に歯止めが効いていないのではないのでしょうか。新たな産業を誘致することも大切だが県内にある大学などを活性化させ県外に知らしめる事も重要ではないのでしょうか。若者の目を県内に向けさせ定着を図り、結果新しい産業の発展を図るべきだと思えます。

・滋賀県全体としては産業振興が進んでいるのかもしれないが、それはほんのひと握りにすぎません。はっきり言わせていただくと、滋賀県は南北格差状態です。南部は天津・草津を中心に、近江八幡以南は商業・工業ともに充実しており、外見だけでもはっきりわかります。一方で、彦根以北は過疎化が進行し、県唯一の新幹線停車駅である米原駅周辺は最悪な状態です。今後の課題としては、この南北格差を解消すべく、南部開発で培った技術を北部でも応用し、県全体で商工業が賑わう環境整備を意識した計画策定がカギとなります。その際、+農業も含めて、農商工連携を推奨できる仕組みが盛り込まれるとなお良いです。

・スーパーやドラッグストアなど生活用品を取り扱う店は極端に増えてきており、音楽や芸術など文化を支える店がなかなか伸びてこない印象があります。個人的に、良いと思った町にはレコード店、個性的な本屋、単館の映画館等々、「〇〇市と言えば」と聞かれたときに観光地以外の独自の文化が根付いています。少しずつ小さな個人店が寄り合ってイベントを起こしたりしているのは耳にしますが、地域との距離はまだあると思います。また、来店やイベントの参加は、市内や県内よりも県外の方が意外と多いと聞いたこともあります。根本的に地域に興味を持っていない人もいるかもしれませんが、車社会なので渋滞に巻き込まれるのであれば家にじっとしておこうと思う人も多いとも思います。イベントなどで県内外の観光客を集めるのは熱心ですが、住民の日々が気持ちよく送れるかも考えて実施されているかが些か疑問に残ります。

・産業(企業)と地域の間には相互の理解が必要であり、産業(企業)には社会的責任があると思うが、企業に隣接する大きな河川の堤防の草刈りもなく地域で活動はされていない。産業の振興と地域の振興は相互の関係から社会的な責務がないと衰退すると思う。

・産業振興策の一つとして、観光客(特に海外)を呼び込むことに力を入れられているようですが、京都市内の悪例が報じられているように、地域住民の生活環境を犠牲にしてまでの振興策には反対です。例えば、おごと温泉駅。時間帯によっては海外の方の喧騒で地域の方のJR利用に迷惑感が出ていることもあるようです。特定の時間帯の電車の利用を避けています。もっと物づくりや技術水準が向上する産業振興に力を入れられた方が、国、県、市町の実力が向上すると思います。